

ふかまのまど

第18号 一八年七月二日
発行元 深町連合町内会
連絡先 空三三二五二

連合町内会活動報告

第十四回三原市民

ゲートボール大会に出場

ゲートボール担当 原 勇吉

六月五日、やまみ運動公園で、「健康づくりと安全で身近なスポーツを楽しむ活動を広げる」為、ゲートボール大会が開催され、深町を代表し出場しました。メンバーは、村上、原、林、岡本、高篠五名で出場し健闘しました。試合成績は次の通り

第一試合 深町 八点 須波 十点
第二試合 深町 九点 中々町 九点
同点であるが、内容勝ちで一勝



総合成績は一勝一敗。誤審判で反則を取られ苦戦しました。皆さん雨の中練習して戴き有難う御座いました。成果は出ており来年を楽しみに頑張つて行きましよう。

「健闘下さいました、皆さん有難う御座いました。」

深町の植物

力石 卓夫 (三原市宗郷)



《ウツボグサ》

ウツボグサの名前の由来は、ウツボグサの花穂(かすい)の形が「うつぼ」という矢を背負って入れたる鞆(うつぼ)という道具に似ていることからつけられました。

※七月十三日撮影

深町子どもを守る会

子どもをみんなで

守りましよう。

深小の子どもは



○午後四時過ぎに下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近づく、遠くで、みんなを

見守りましよう。

○あいらつ

誰かひとをましよう。

上組町内会だより

桜並木と周辺の草刈り

上組町内会長

法代地 功一

六月十日(日)梅雨の最中、午前八時前頃より作業開始、多数参加下さり桜並木と周辺の草刈りが短時間で終わることが出来ました。台風五号と梅雨前線の影響で開始十分前まで雨がパラついていましたが、お陰で雨にあたる事もなく、体感的にも気持ちよく出来ました。草刈りをする、桜木の青葉がより一層爽やかにになりました。(桜木も十五年経過し、ボツボツ肥も必要かな...)



皆様には多忙な上、足元の悪い中での協力有難うございました。

歩く会(ママ)参加を

歩く会幹事 石井 堂照

久井町 吉田大池、野間川ダム



月日 七月十七日(火)
予備日 七月十九日(木)

行程
八時 三〇分 深町上組公民館発(車)
九時 三〇分 久井町大池、野間川ダム
十一時三〇分 探訪終了 昼食
十三時三〇分 深町上組公民館着(車)

サンライズ大池 夏祭り開催

去年は施設内改修工事があり、夏祭りを中止しましたが、今年はやつさ踊り・職員によるダンスなどの催し物やお好み焼き・かき氷・綿菓子などの屋台を用意してありますので、皆様お誘い合わせの上お気軽にお越し下さい。サンライズ大池の利用者の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

日時 七月十四日(土) 十三時~十五時
場所 サンライズ大池
お問い合わせ先 電話 六〇一〇六二〇
サンライズ大池

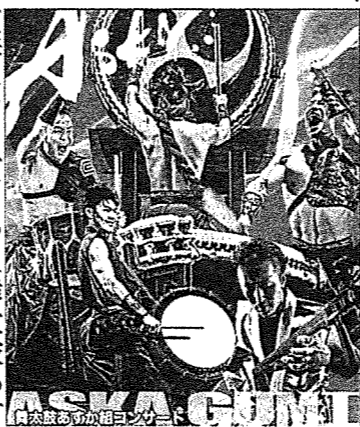
「ふかまのまど」ホームページのアドレスは
<http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html>

深小だより

体も心も震えた太鼓の響き

三原市立深小学校 校長 松島 恵子

空を見上げては雨が落ちませんようにと心配した六月十八日(月)、舞太鼓あすか組による学校コンサートを行いました。この学校コンサートは、三原市芸術文化センターポロが、開館以来、文化振興を目的として展開しておられるアウトリーチ事業で、「生の音を身近な場所で」をキーワードに、ポロが経費を負担して演奏家による訪問演奏をしてくださっているのです。今年も案内を手にした瞬間、深の子もたちにはぜひとも聴かせたいの思いがこみ上げ、すぐに申し込みをしたところ、見事希望が叶い、コンサートを行なうこととなったのです。めったにない機会ですので、保護者や地域の方にも感動の輪が広がればと学校だよりでお誘いしたところ、四十名あまりの方がお越しください、子どもたちと感動をともにしてくださいました。ほんとうにありがとうございました。



演奏してくださった舞太鼓あすか組は、国内四十七都道府県、世界二十一か国で公演をされ、世界を舞台に活躍されておられるみなさんで、その表現力はさすがの一言です。圧巻でした。躍動感あふれる力強い太鼓の響きが空気を震わせ、床を震わせ、その響きが聴いているものにダイレクトに伝わり、やがて聴くものの体と心も震えてその響きと一体になり、気がつく、音の世界に陶酔して、筋肉の動き、声、飛び散る汗、魂の叫びを感じました。

また、「君たちは二十一世紀の子どもたちなんだよ。今はまだ修行のとき。力を蓄えておこう。だから、やがては君たちが世界をつくるんだよ。」というあすか組のリーダーの言葉の熱さにも心は打たれました。子どもたちは今はまだその言葉の意味がよく分らないながらも、あすか組の言葉の響きとともにあふれる熱さを感じてほしいと願います。

コンサート最後の、「わたしたちの深にも太鼓踊りがあります。今日の演奏を聴いて、わたしも深の太鼓踊りをしつかり受け継ぎ、盛り上げていきたいと思えます。今日はすごい演奏をありがとうございました。」という六年生の感想に、保護者・地域の方から思わず上がった感嘆の声。深の輝く未来を確信されたからその感嘆の感動の渦を巻き起こす学校コンサートをしてくださいましたあすか組のみなさん、ポロのみなさん、深く感謝申し上げます！

深町各種団体七月行事予定

- ◆連合町内会
- ▼グラントゴルフ大会 八日
- ▼小学校
- ▼防犯教室 二日
- ▼PTA役員会 四日
- ▼学区児童会 放課後子ども教室 五日
- ▼クラブ活動 九日
- ▼参観日 教育講演会 一三日
- ▼司書 歌唱指導 一七日
- ▼読書ボランティア 一九日
- ▼終業式 個人懇談 二〇日
- ▼授業日 二二~二六日
- ▼校内水泳記録会 二六日
- ▼地域プール 二七・二八・三〇・三一日
- 八月三日まで
- ◆如水館中学・高校
- ▼(中)英語検定(二次) 一日
- ▼期末試験 二~五日
- ▼オーブンスクール 八日
- ▼合唱コンクール(ポロ) 一〇日
- ▼全校朝会 一二日
- ▼補充学習 一七~一九日
- ▼終業式 二〇日
- ▼保護者会 二二~二四日

TBG協会だより

第七十九回三原市ターゲット・バードゴルフ大会
第七十九回三原市TBG月例会が六月十七日(日)深町・城山コースにて、十六名の参加で晴天の中行われました。



成績は次の通りです。

- 一位 谷岡 義昭
 - 二位 高崎 修
 - 三位 井上キヨコ
- ベスグロ七十四
- 金子 勝彦
 - 谷岡 義昭
 - 船本 雄三

- 二人組戦
- 一位 林 洋祐
- 井上 幸子

次回大会は、七月十六日(月)に実施します。

※選手の敬称略
TBG事務局 天木 雅之

城山サロンより お知らせ

城山サロン代表 石井 堂照

「夏の健康づくりについて」

高齢者相談センター どりむより

- 七月十一日(水)十時~十二時
- 深町町民会館二階
- お話し、相談、血圧測定など
- 多くの方の参加をお待ちしています。

第二中学校だより

「中学生になって」 一年 百々 瑛大

ぼくが中学生になって、がんばりたいことは、勉強とスポーツを両立させることです。



なぜかという、ぼくは、サンフレッチェというクラブチームにセレクションを受け、受かり入っています。練習は、週五日もあるのだから、あまり無理はしませんが、学校では、ノートをしつかりとり、提出物はしつかりだし、忘れ物をせず、しんげんに取り組んでいきたいです。

「中学生になって」 一年 背戸 天斗

ぼくは中学生になったからと、かく勉強と部活の両立をめぐらしていましたが、中学生になって今のところ、いいように勉強と部活の両立ができています。

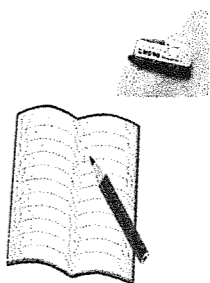


ぼくは、今、目標があります。それは、中一、中二、中三でも何となく、中一、中二、中三のときも、中学生の六年生のときも、教えることができました。

深小今昔ものがたり(九) 「販売部」

尾道市美ノ郷町 石井 哲代

文房具もない深町です。玄関の真上で二階廊下より五段程上がった所に、半坪程の部屋、そこが販売部でした。



五年生と六年生で当番をきめて朝の時間と、昼休み半分の時間で販売しておりました。その日の販売品の数量と売上金は事務の先生へ持って行きます。

あれから、〇拾年、立派な三階建の新社舎の十円玉だけではない、あの販売部の隙間へ落としたり、だるう五円玉や十円玉は、立派に成人した子供達の姿を、どこかで見守っていてくれることでしょう。

就労継続支援B型事業所 やつさ工房だより

日時 七月三十一日(土) 十六時三十分～十九時 場所 やつさ工房 三原市中之町五十二七 電話 六七七二〇一

- *バザー 焼きそば・タコ飯・タコ焼き・唐揚げ・みそこんにやく・フランクフルト・フライドポテト・ケーキセット・お抹茶セット
- *体験コーナー 革キーホルダーづくり 手すき葉書づくり
- *ゲームコーナー せんせいのスーパーボール・くじ引き

地域の皆様とともに夏祭りを企画いたしました。ぜひお越しください。 やつさ工房一同

『栖本郡代 石原太郎左衛門之事』 第六回

十一月十四日以降に資料に現れる石原太郎左衛門関係を見ると、寛永十四年(一六三七) 〇十一月十五日 栖本二有之石原父子之迎二批者

〇十一月十七日 肥後藩より使番が栖本に来て、久兵衛と八兵衛に状況を尋ねる。(太郎左衛門だけが御所浦で、息子二人は湯船原城を守っていたと思われる。)

〇十二月七日 八代勢(細川立充) 栖本に着船し、石原太郎左衛門の伴二人を付けて置く 太郎左衛門の動静は、これ以降不明である。御所浦の避難中に死亡したのか、栖本に帰ってから死亡したのか、いづれにしても、太郎左衛門本人の動きは無く、息子二人の動向のみとなっているのは、十一月中に死亡したとすると、納得できぬ事もない。

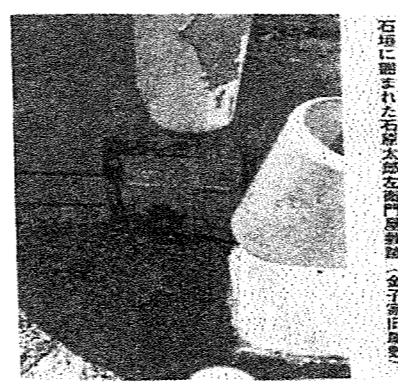
(二) 湯船原城(栖本城) 当時の郡代所は、天草五人衆の一人、栖本氏の居城跡にあつたと言われ、現在、仏日山円性寺が建っている場所とされる。栖本氏の居城、俗に「湯船原城」は、建物の規模や構造は不明ながら、太郎左衛門の在職中は健在であつたと思われる。普通「一国一城令」によつて、富岡城以外は破却されたと考えられていたが、『天草・島原の乱』直後までは建っていたのである。もしかしたら、寛永十四年(一六三七)十二月七日に、八代城主細川也充が、上天草のキリシタン一揆を鎮圧する為、栖本に陣を設けた時、太郎左衛門は、息子二人を付けており、湯船原城を使用したとも考えられる。また、寛永十五年(一六三八)三月十三日に老中松平伊豆守信綱が『乱』終結後の天草を巡視し栖本に泊した時、湯船原城破却したのであろうか。湯船原城破却は、新に天草領主となつた山崎甲斐守家治が天草に着任する寛永十五年五月以降であらう。河内浦城も、『乱』当時まで建っていたのであろうか。

『四郎乱物語』に、 「下天草(河内浦)の郡代中嶋与左衛門は、四郎一揆退治のため、唐津天草の両勢上津浦表へぞ発向の由聞き届け、天草の城には主殿介と言ふ六歳に成りし一子に、家頼小嶋庄兵衛を相添え(以下略)」 とあり、天草氏の居城がそのま

ま建っていたのであろう。しかし、本戸城・大矢野城・上津浦城に関する記述が無い。本戸城は、天草天立合戦の折り落城した事で、建物が無かつたと考えられるが、大

矢野城・上津浦城については不明である。寺沢氏は「一国一城令」が出されて、二十二年目にあたる寛政十四年まで、破城をおこなわなかつたのであろう。徳川幕府は「大阪夏の陣」で、完全に頂点に立ち、諸大名は、無断で自国の城を修理修復しただけでも、「取り潰し」や「改易」を強行できる力を持つた事で、「二国一城令」は、徹底された一般的なみなされている。中世城のつくりと思われる湯船原城は、天守閣を有する何層もある建物ではなく、館と表現した方が良く、私は考えているが、そうだとすれば、太郎左衛門一家の居住所でもあつたのではなからうか。

(三) 石原太郎左衛門の出自と人物像 太郎左衛門の出自についての資料や伝承も管見にないが、「石原」と言う姓から推測すれば、栖本町打田の字に「石原」があり、この字の横を河内川が流れ、対岸は湯船原村である。この川に架る橋を石原橋と言ひ、「石原太郎左衛門屋敷跡」と言われる屋敷は、この橋の袂に位置し、太郎左衛門の子孫を名乗られる金子家の旧屋敷である。「石原」の姓は、この地名から取られたと思われる。



石原に建てられた石原太郎左衛門屋敷跡(金子家旧屋敷)

- ※⑦ 上天草市史大矢野町編3 『天草島原の乱とその前後』 P304、寺沢藩士による『天草一揆書上』 P208
- ※A 寺沢藩大船頭内山彦右衛門
- ※B 熊本縣史料近世編三
- ※C Bに同じ
- ※D 志方半兵衛言上控
- ※⑩ 元和元年(一九一五) 徳川幕府は「貴殿御分國中居城をば被残置、其外之城は悉可有破却之旨上意候」と命じている
- ※E 『四郎乱物語』 作者不明。発行本渡市立天草切支丹館振興会。P269
- ※F 『四郎乱物語』では、大矢野城跡に、「俄に館をつくり」とある事から、城は破却されていたと思われる。
- ※G 『茶北町史(史料編)』 P266 「井上角右衛門覚書」に、「上津浦之一揆共城ヲ明ヶ原之城へ罷越中候由申二付、古城之小屋別儀無御座焼松セ申候」とあるので、この時まで存在していた。(寛永十四年十二月九日)
- ※⑪ 現天草市立栖本町打田。旧村名は村田村で、字に、「五反田」や「二町田」「大坪」など、荘園時代の条里制に基づくとと思われる地名がある。
- ※⑫ ①天草最高峰倉岳と老岳を源とする天草有数の河川。

執筆 鶴田 耕治 発行 金子みち子 (次号へ続く)

修学旅行記

石井 悠太

僕は、五月三十一日と六月一日に、京都・奈良・大阪を見学してまわりました。僕が心に残ったことは、二つありました。

一つ目は、清水寺です。清水坂を登ったとき、坂がけっこ急できつかったです。絵付け体験では、ちよつと絵がうまくいきませんでした。そして、坂を登りきると阿吽の金剛力士像がありました。中に入ると歴史の人物の弁慶の像がいた「げた」と「杖」がありました。ここで男性が下駄を触ると、一生女性のいいなりになるそうです。女性が下駄に触ると靴関係に困らないそうです。杖を持つと男性は、一生力持ちになれるそうです。杖の重さは、二十四キロと百キロのものがあったて、持つてとても重かったです。また、この清水寺は、釘を一本も使っていないそうです。そして、音羽の滝では、三つの滝が流れていました。一つ目は学力、二つ目はロマン、三つ目は長寿の滝で、僕は長寿の水を飲みました。

二つ目は、ユニバーサルスタジオオジャパンです。僕は、ハリウッドドリームザライドに乗りました。そのとき怖くて声が出ませんでした。次に、ウォーターワールドシヨを見ました。水しぶきが、すごく飛んできました。次に、スパイダーマン3Dを見て、とても面白かったです。最後に、お土産を買いました。

僕が修学旅行で分かったことは、日本は世界文化遺産や国宝がたくさんある事でした。

楽しかった修学旅行

柿迫 颯歩

ぼくは、五月三十一日と六月一日の二日間で修学旅行に行きました。

ぼくが修学旅行で心に残った所は、二つあります。一つ目は、清水寺です。理由は、清水坂で清水せんべいと木刀が買えたからです。僕は、行く前から買いたいと思い、買おうと決めていたからです。

もう一つは、金閣寺です。金閣寺では大雨だったので、「逆さ金閣」が見られなかったのは残念でしたが、下の寝殿造がライトアップされて、仏像が映されていたのが見られてよかったです。金閣寺には金箔が約七億円も使われていることを聞いて、とてもびっくりしました。「足利義満さんは、とてもお金持ちだったんだろうな。」と思いました。

僕がこの二日間を通して学んだことは、時間を守ること、教えてもらったことは、生活や勉強に生かしていくことです。生活や勉強に生かせるようにしたいです。この修学旅行は、本当に多くのことを学び、楽しい修学旅行になったので、これからも楽しく学校生活を送って、友達と仲良くしていきたいです。

修学旅行

坂本 優和

僕は、五月の三十一日に修学旅行に行きました。

その中で、一番心に残ったものは、USJです。USJの入りにくく、大きな地球の模型がありました。入り口を通り、USJの中に入ると、もうワクワクが止まりませんでした。USJでの班行動は、赤白班で行きました。まず、班のみんなとアトラクションの「ハリウッド・ドリム・ザ・ライド」に乗りました。前向きで乗りました。隣に乗っていた西君と一緒に叫んで楽しかったです。次に、「スパイダーマン」のアトラクションに乗りました。特別なメガネをかけて乗りました。スパイダーマンは、音や3Dだけではなく、敵がアタックしてきたときに暑かったり、水が飛んできたりしたので面白かったです。そして、ウォーターワールドを見ました。とても面白かったです。最後に、買い物しました。ハリポッターのところでは、バターロール味の飴を買い、買い物レインのところで、弟のおみやげを買いました。

USJは楽しかったけれど、楽しいときでもちゃんと判断して行動することが大切だと分かりました。このことは、これからの生活にいかしていきたいです。

修学旅行

修学旅行

西 啓太郎

ぼくは、五月三十一日と六月一日に修学旅行に行きました。

その中で一番心に残ったところは、東大寺です。そこで知ったことは、東大寺は今までに二度火災で焼けていて、奈良の大仏の足は奈良時代、体は戦国時代、頭は江戸時代につくられたそうです。東大寺には、朝一番で行き大仏の鼻の穴を一番に通り返しました。じきに鼻の穴の所は、長い行列になっていました。ぼくは、朝一番で行って良かったと思いました。

口には、弁慶の持っていた「げた」と「棒」がありました。「げた」は、鉄でできていてところがすごいと思えました。清水の舞台に行くくと、すもう一つは、清水寺です。入り口で高くして少しこわかったです。次に、音羽の滝に行きました。長寿・恋愛・学問の水があり、ぼくは学問の水を飲みました。味は普通の水でした。最後に清水坂に行きました。すると、急に大雨が降ってきて、お土産を買うことができませんでした。でも、USJでお土産を買えたのでよかったです。清水寺で学んだことは、あんなに高く大きな舞台なのに、清水の鬼の目という所は一本も釘を使っていないところです。昔の人の技術はすごいと思えました。六年生の友達と一緒に良かった、とても楽しい修学旅行になった良かったです。



小学生 6年生

修学旅行の思い出

八木 幌汰

ぼくは、五月三十一日と六月一日に修学旅行に行きました。

一番心に残ったのは、東大寺です。東大寺には、奈良の大仏があります。頭は江戸、体は戦国、お腹からは奈良時代に造られたと初めてガイドさんの話を聞いて知りました。東大寺では、他にも大仏の鼻と同じ大きさの穴を通りました。大仏の鼻は思ったより小さかったです。また東大寺は、世界最大の木造建築です。高さ五十二メートルです。とても大きかったです。

次に心に残ったのは、清水寺です。清水寺は、七百九十四年にできました。清水寺の鬼の目という

舞台は、くぎを一本も使わずに建てられていて、今までに一回も倒れていないので、昔の人はすごいなと思えました。清水寺から見下ろす景色はとてもきれいで、京都タワーも見えました。音羽の滝では、長寿の水、恋愛の水、学問の水があり、ぼくは、学問の水を飲みました。



最高の修学旅行

奥長 花奏

わたしは、五月三十一日、六月一日に修学旅行に行きました。行った場所は、京都・奈良・大阪です。

私が一番心に残ったのは、大阪でのUSJです。一番初めに乗ったジェットコースターが心に残りました。初めて乗るジェットコースターなので、とても楽しかったです。友達と叫びながら乗ったのでとても嬉しかったです。怖かったです。

また、東大寺も私の心に残りました。東大寺は、木造建築ということが分かりました。また、四・五頭身のルシヤナ仏も初めて見てとてもすごいと思えました。そして、みんなで鹿に「しかせんべい」をあげるとき、鹿のオスがどんどん走って私たちの所に来たので、「キヤー」「こわい」と大きな声で叫んでしまいました。でも、とても楽しかったです。

私が、この修学旅行を通して学んだことは、団体行動の大切さと人が話しているときは最後まで話を聞くということです。修学旅行で学んだことは、これからの学校生活で生かしていきたいと思いました。

修学旅行

谷口 勇翔

ぼくは、五月三十一日から六月一日の二日間で京都、奈良、大阪に行きました。

その中で、一番心に残ったのは清水寺です。清水では、絵づけ体験をしました。ゆのみに絵をかくのは、難しかったけど楽しかったです。一ヶ月後に湯呑みが届くので、とても楽しみです。

また、清水寺では、入り口に弁慶がはいていた「下駄」「百棒」がありました。「百棒」は、二十キロと百キロのものがありませんでした。二十キロは持ち上げることができたけど、百キロはさすがに重くて持ち上げることができませんでした。次に、釘を一本も使っていない舞台に行きました。そこから見る景色はきれいでしたが、高くて怖かったです。そして、音羽の滝では、長生きの水を飲みました。これを飲んだので長生きできると思いました。最後に、清水坂で買い物しました。家族へのおみやげが買えたので、よかったです。

ぼくは、この修学旅行で団結することの大切さを学びました。この修学旅行で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思えます。

たくさんの思い出修学旅行

柏原 琴衣

私は、五月三十一日、六月一日に京都・奈良・大阪へ修学旅行に行きました。この二日間で心に残った事が様々あります。

一つ目は、湯飲みの絵付け体験です。前もって学校で下書きを考えていたので、すらすら描けると思っていたけど、筆で細かい所を描くと、つぶれたり曲がったりして難かしくなったので、急いで二条城の絵から五重の塔に変えました。時間一杯使って描けたので、一ヶ月後の出来上がりが楽しみです。

二つ目は、清水寺です。舞台から見た景色が緑いっぱいできれいだった事と、反対に離れた所から見た舞台は、写真より迫力があつた事です。そして、釘を一本も使っていない建て方は、ガイドさんからも聞き、昔の人の知識はすごいと思えました。他にも音羽の滝では、長生きの水を飲んで、その水で手を洗うとなんだかさすべすべしたような気がしました。

USJでは、友達とジェットコースターに乗り、「キヤール」ではなく、「ウワー」と、叫んで、盛り上がりました。帰りの新幹線でも、その話をして、また胸がドキ

ドキしました。

この修学旅行、お寺の文化や歴史について学びました。そして、この学んだことを、これからに生かしたいです。

思い出に残った修学旅行

豊田 紗也

私は、五月三十一日と六月一日で京都、奈良、大阪へ行きました。心に残った場所は、二つあります。

一つ目は、二条城です。二条城では、うぐいすばりのゆかでもとてもびつくりしました。二条城の中の部屋は、竹や梅、動物の絵がびょうぶに描かれていてとても美しかったです。庭はとても広く、すごかったです。思い出してみると、歩いた時に出る音や美しい景色、広い庭など全てとても良い思い出になりました。

二つ目は、ユニバーサルスタジオジャパンです。人数が少なかつたので、赤班と白班に分かれて行動しました。私達赤班は、スパイダーマンのアトラクションに乗りました。専用のメガネをかけ、車に乗りました。

修学旅行

とても大きな音をたててぐるぐる回ると車が回り、少しよってしまいました。でも、楽しかったのでまた乗りたいです。次にウォーターワールドに白班と行って、ショーを見ました。カッパを着ている人もいました。一番前の人はずぶぬれになっていました。本物の爆発や、人が落ちてくるのを見て、「大丈夫かな」と思いました。

この二日間で学んだことは、時間を守ることです。また、六年生最後のよい思い出になりました。

思い出に残る修学旅行

松岡 琴未

私たちは、五月三十一日から六月一日の二日間で京都、奈良、大阪に修学旅行に行きました。

私が二日間で一番心に残った場所は、一番目に行った清水寺です。清水の舞台の鬼の目という所は、釘を一本も使っていないことが分かりました。周りを見ると、とても景色がきれいでした。その後に行つた

音羽の滝には三つの滝があり、右から長寿・ロマン・学問の水でした。わたしは、右の長寿の水を飲みました。十人中八人が長寿の水を飲んでいました。ガイドさんもビックリされていました。清水寺では外国人の方々が、たくさんいておどろきました。

私は、この二日間でできたことは、集団行動です。なぜなら、いろいろな場所で人がたくさんいたので、迷惑にならないように考えて行動することができたからです。逆に気をつけることは、歩くときに二列以上にならないこと、話しているときに口を挟まないことです。これから注意したいです。二日間で学んだことを、生かしていきたいです。みんなでも楽しんで修学旅行にできてよかったです。

